

新天竜川橋付近の渋滞回避で通勤時間の大幅短縮！

～遠州豊田スマートインターチェンジ～

道 路 名 東名高速道路
所 在 地 静岡県磐田市

磐田市の旧豊田町地域は、人口3万人¹で、地域在住の就業者1万7千人の約25%にあたる4千人の方が、浜松市へ通勤しており²、天竜川を隔てた西側の浜松市との結びつきが非常に強い地域です。

磐田市、磐田郡福田町、同郡竜洋町、同郡豊田町、同郡豊岡村が平成17年4月1日に磐田市として合併。

更に地域外に就業する方の70%はマイカー通勤を行っており²、非常に自動車交通への依存が高い地域となっています。

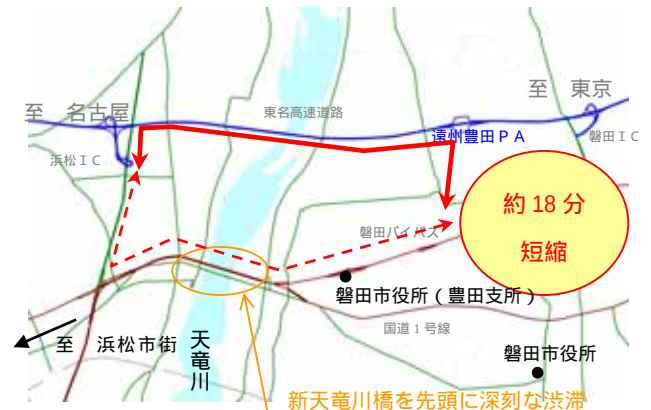
旧豊田町地域へ通勤されている方の約14%が浜松市常住で、域外からの通勤のうち87%もマイカー通勤。²

一方、天竜川渡河部は平日朝・夕の渋滞が極めて深刻で、特に国道1号線の新天竜川橋は、県下の一般道路で3番目に交通量が多く、平均旅行速度は19.4km/h³と多大な時間損失を招いています。

遠州豊田PAスマートICは、利用者の75%が通勤・通学・業務目的での利用⁴であり、新天竜川橋先頭の渋滞回避により約18分移動時間の短縮効果が確認されています⁵。また、利用者の方の約8割が移動時間の短縮を実感して頂いています⁴。

更に、新天竜川橋を先頭とする朝夕の渋滞で、最大約2,000m渋滞長が減少し、周辺の住民の約5割の方が「国道1号線や磐田バイパスの渋滞が緩和した」と実感⁶するなど渋滞緩和効果も発揮されています。

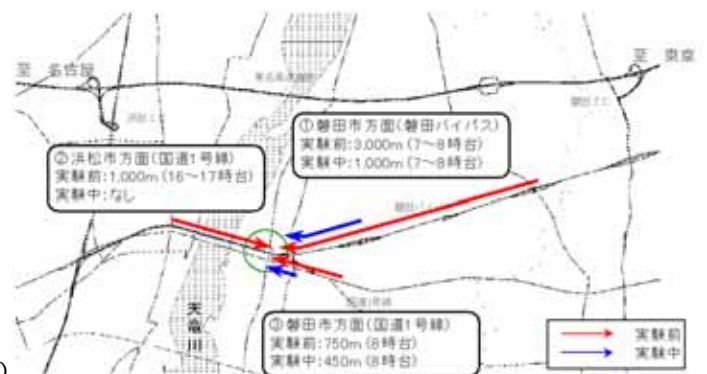
現在もスマートICの利用は増加を続けており、ますますの時間短縮、渋滞緩和効果が期待されます。



浜松市側から新天竜川方向
出典：国土交通省提供資料



新天竜川橋周辺の渋滞 3Dマップ
出典：国土交通省提供資料
渋滞損失時間は静岡県提供。
(平成11年度道路交通センサ調査)



新天竜川橋を先頭とする渋滞の変化
出典：平成17年度国土交通省調査結果

出典

- 1：磐田市ホームページ（平成19年2月末時点）
- 2：平成12年国勢調査結果
- 3：平成17年度道路交通センサ調査結果
- 4：平成18年度スマートIC利用者アンケート結果（国土交通省）
- 5：平成17年度国土交通省調査結果
- 6：平成17年度周辺住民アンケート結果（国土交通省）